

# 和紙だより



## ■花牟禮亞聖(はなむれあせい)

東京都多摩市在住。STUDIO ASEI主宰。女子美術大学産業デザイン科卒業後、日本橋高島屋・宣研勤務を経て、1983年、渡伊、世界的デザイナー、ブルー・ムナーリとイエラ・マリの両氏に師事。帰国後、カミカのアートディレクターとして活動。1988年、STUDIO ASEI 設立。紙にこだわったデザインワークを発表、個展を開催する一方、美術大学などで紙の造形教育に携わっている。近年DUE MANI(デザインユニット)で紙製品の提案を行っている。和紙文化研究会会員。<http://www.studio-asei.com/>

## —越前和紙への提言—

●紙という素材との出会い  
「紙と対話する喜び」

一九八三年からイタリア・ミラノのブルーノ・ムナーリ氏の所に一年居たのですが、ムナーリさんは素材が大好きな方で、紙なら、手で触つて匂いをかいだり、裏表にしたり、破つてみたり…徹底的に素材と対話する人でした。彼の影響を受けて、素材感の面白さを知り、紙で『ハンドエンボス』という技法を自分で考案しました。エンボスの版を紙で切り抜き、その上に紙を重ね、ライトテーブルの上でへらでなぞつ模様を浮き上がらせます。帰国後、「ラ・モストラ・ビアンカ・白い展覧会」での手法を用いた個展を銀座で開きました。この個展が縁で、「カミカ」という紙製品の企画をする会社のアートディレクターとして働き、独立後、横浜そごうのCIと紙を活かしたデザインをやらせて頂きました。

ハンドエンボスの作品(冠鶴)



■花牟禮亞聖さん(ペーパーデザイナー)  
「紙と対話する喜び」

和紙文化研究会会員。http://www.studio-asei.com/

花牟禮亞聖さんは、女子美術大学産業デザイン科卒業後、日本橋高島屋・宣研勤務を経て、1983年、渡伊、世界的デザイナー、ブルー・ムナーリとイエラ・マリの両氏に師事。帰国後、カミカのアートディレクターとして活動。1988年、STUDIO ASEI 設立。紙にこだわったデザインワークを発表、個展を開催する一方、美術大学などで紙の造形教育に携わっている。近年DUE MANI(デザインユニット)で紙製品の提案を行っている。和紙文化研究会会員。<http://www.studio-asei.com/>

は使ませんね(笑)。洋紙、和紙を問わず、紙で考えられることは何でもあります。生活に潤いを与え、オシャレにできればと考えています。毎回の資料も課題の作り方と写真を載せて、ファイルも沢山たまりました。生徒さんは何事にも積極的で美的センスのある人が多く、いわば紙のハードユーザーだと思いますね。

## ●実験や試作の繰り返し

和紙にハマッたのは、息子が小学校の時にあきる野市の「ふるさと工房」で紙を漉いて来たのがきっかけです。すぐ友人とその工房に行き、薄いのが欲しい、厚いのが欲しいなどと言ひながら(笑)、漉いた和紙を使い造形し始めたのです。と言つても和紙に関しては素人ですので、試行錯誤の連続で、まずは手を動かしながら実験を繰り返して、素材と対話しながら紙という対象に近づいていくというのが私流です。昨年の個展の為に、柿渋で染めた洗える和紙のテーブルライナーを作ろうと思いました。縁をのり留めしたかったのですが、柿渋はボンドが乳化してしまって、水を通して溶けてうまくつかないので。大失敗でした。昔の人はどうしていたのかなあと思いつ、「柿渋」の本を買い込んで調べていたら、桑の木などにいる山まゆを保護するために柿渋紙の袋を被せたと書かれていて、それに使つたノリの材料が書かれていた。その記述をたよりに実験を何度も繰り返して、やつと水で何度洗つても大丈夫な作品ができました。昔の人はすごいなあと感じ入りましたね。

## ●意外性を引き出す

和紙を和風に使いたくなかった。例えば、リキ

テックスで色づけをした和紙に切り込みを入れストールを作りました。空気の層ができるくて暖かく、洗えて、色もきれい。又、テーブ状の紙を作り、くるくるひねつてくびれを作り、自分で自由に形が作れるアクセサリーを作ります。ネットレスにしてもいいし、腕に巻いてもいいし、くしゃくしゃとしてコサージュのようにしても素敵です。洗える紙のアクセサリーです。

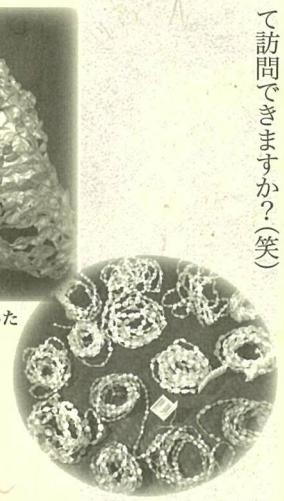
和紙材料は、とにかく大きな作品を作るのに、アイデアが浮かんだらいつでも使えるようになります。楷系の超薄、薄口、中厚、厚口の六十メートルの機械漉きロール紙を京都の紙屋さんから送つてもらっています。そんなに高い紙ではなくて、きっと表具屋さんなどが下張りに使う紙だと思いますが、私のように手で考える者にとっては、色味や素材感がむしろ大切です。好みの紙に出会うのが難しいのですが高い和紙にも挑戦したいですね。



昨年山梨県のギャラリー『歩ら里』で個展開催

## ●すぐれた日本の和紙造形

和紙研究会に入つてから産地見学や勉強会でいろんな事を教えていただきました。以前、「御幣」の本を見つけて、造形的に余りも面白かったので、作り方を解説してみたのです。半紙を四つ折りにして、切り込みを入れ、折るだけで、鯛が付いた神様に捧げる御幣ができました。御幣という紙を見ただけでも、日本人が平面の紙を見事に立体に変化させる、やわらかく頭を持つていて、日本のお紙の造形や物づくりなども研究できたらいいなあと思っています。



和紙をテープ状にして作った照明器具とアクセサリー

最近は、ハンドエンボスを色々な和紙でやりたいし、生活や空間を演出するいいものを和紙で作ってみたいし、大いに遊んでみたい。好みの紙を漉いてもらえるための情報と相談窓口がある機会が欲しいです。「越前和紙マップ」なんかがあるといいなあ。そしたら、一人でもアポ取つて訪問できますか？（笑）

う。

## ●工房開設の意図

観光都市京都には、本格的な伝統工芸の職人の技術を体験するという場所もあるが、ここでの「紙の体験工房」はそうではない。少し前まで、私達のおばあちゃんやおじいちゃんは、障

近頃京都の街中で人気のスポットがある。京みやげに自分で紙の和雑貨を作ることができ

## 「紙の体験工房」だ。

鈴木松風堂の創業は明治二十六年。キリスト教の宣教師だった先々々代鈴木宇吉郎が上海での布教を終え、土産に紙筒製の万華鏡を故郷京都に持ち帰ったことに始まるという。京都は呉服の街。当時反物の芯に使われていた木を軽い紙に替え、紙筒に託した商いは成功。その後、扱い品目は紙管、紙容器、インテリア材料の見本帳などに使用される工業用紙材の製造販売に拡がり、現在、京都市中京区の本社・企画開発室・ショップを始め、滋賀、福井、岐阜県などに四つの工場を有する。ショップは十年前、「紙の体験工房」は三年前に開設。町屋の一階に五、六十人は入れる広い工房があった。体験工房室長の堺垣孝明さんにお話を伺う。

## ■（株）鈴木松風堂 町屋で作る京みやげ「紙の体験工房」



「紙の体験」工房室長の堀垣孝明さん  
<http://www.shofudo.co.jp>

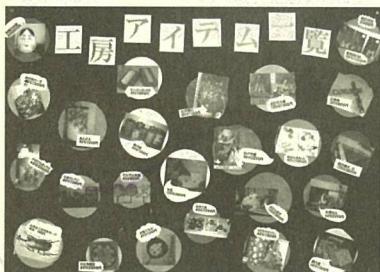
子も自分で張ることができたし、襖だって枠を外して貼り替えることができた。町衆が当然のように持つていた紙の技術や歴史に、楽しみながら触れて欲しいというのがこの工房の狙いなのだ。同社は京都で体験型の工房を持つ会社五社で結成された「京都オモロ体験会」のメンバーもあり、ひと味違った京都観光を東京圏で宣伝するのにも一役買っている。堀垣さんは「京都は昔から伝統工芸の一大集積地だけに、紙製品についてもいい物がある。ホンマモノを見る機会にも恵まれていて京都の地の利を活かしたい」と言う。

## ●豊富な体験コースメニュー

工房の主たる客は、修学旅行生と氣の置けない仲間と旅する小グループの女性客。体験コースは多彩（千数コースもある）

きは入つておらず、店にある様々な和紙を使って、ちょっとと氣の利いた物を作ることができる。常に人気のある定番のコース、歳時記に則した季節のコース、提案や話題性の詰まったタイムリーナー

コースが二十数種類用意され、指導員が制作のポイントを教えてくれる。一番人気は「あんどん」



## ●オリジナル商品が多いショップ

作り（千五百円）。和紙の行灯部分を自由に描き、紙筒の部品で組み立てる。他のコースを紹介すると、大将さん（端午の節句用）、おひな様、お正月飾り、クリスマスツリー、干支作り、入れ子ハロウインボックス、京福うちわ、七夕飾り、万華鏡、時計、紙の昆虫、紙の皿、お福のお面、紙の木馬など、洋物・和物とバラエティ豊か。初級、中級、上級と三段階のランク付けはしているが、そんなに難しい物はない。できあがり時間は、一時間半～二時間程度。熟達した人が腕目もふらず作れば三十分で完成できるが、どんな紙にしようかと材料選びに迷うのも客にとっては楽しいひととき。あくまで参加者のオリジナルナリティを引き出すようにしている。費用は材料費込みで八百円～三千八百円。千五百円くらいのコースが最も人気がある。インターネットでもコース予約ができる、お客様は体験レポートをブログに書き込むこともできる。



## ●オーリジナル商品が多いショップ

体験工房から通りを隔てて、三軒ほど北にわる。

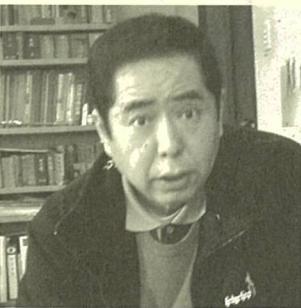
わる。

指導員も携

行つた所には、ショップと企画開発室がある。日本の和紙を中心にアジアの手漉き紙の品揃えも豊富だが、オリジナル紙製品が面白い。歌舞伎の限取り顔の紙箱は四百五十円。絵手紙好きな人のプレゼントにピッタリの紙製水彩セットは三百五十円。紙製の植木鉢や壺もある。至る所にカエルが置いてあるので、聞くと「自然にかかる」と和紙をアピールしている当社のマスコットだそうだ。現在の社長鈴木基二氏は環境意識の高い人で、店では「風変わった工コグッズも売られている。紙を蒸し焼きにした「紙炭」。竹炭同様、嫌な臭いをよくとるそうだ。「ブラックバス炭」なるものもあるのでビックリ。琵琶湖の生態系を壊す、嫌われものブラックバスを炭にしようと、半年がかりで商品化。この炭の脱臭剤一箱でブルーギルなら2匹を駆除したことになる上、脱臭効果は備長炭より優れているそう。



本業の個性的な特注パッケージが並ぶ店舗奥



透かし型作り一筋の山口敏一さん

## ■越前和紙を支える透かし型作り 山口漉込加工所 山口敏一さん

今号は漉き場ではないが、和紙作りを背後から支える道具作りを紹介。

昔から越前和紙には模様すきが多く、襖をはじめとする「ひつかけ」という技法に使われる金型作り、証券用紙の偽造防止に入れられる「白透かし」のための型作りなど、漉き場を支える技術が健在だ。山口敏一さんは、この透かし作りの工房、山口漉込加工所の二代目。現在は息子さんも後を継いでいる。「型作りの専業職が成り立っている産地は珍しく、越前しかないのではないか？」と語る。

### ●透かし型にまつわる物語

透かし型作りは、越前を代表する紙「局紙」との関係が深い。「局紙」とは、大蔵省紙幣寮抄紙局の「局」の字になんだ名で、紙幣用紙として開発された。明治時代、急激な西洋化を推し進める日本の紙幣は、当初ドイツからの輸入紙に頼っていた。国産技術で何とか紙幣用紙を製造せねばと焦る新政府は、白羽の矢を越前に立てた。越前は藩札をいた。

奥の開発室入り口には、同社が製造した特注・紙パッケージ製品も陳列されていて、さりげなく本業の方も宣伝されていました。

## 漉き場探訪

最も早く発行した産地である上、「きめが細かく丈夫でしわよらず」として御教書用の奉書紙（公文書用紙）の技術があつた。越前から抄紙部に招聘された製紙技術者は、山田藤左衛門を中心に、局紙の開発に乗り出したが、それは洋紙に限りなく近い和紙であった。

西洋風に溜め漉きを採用。長い纖維をふつくらと漉くではなく、短い纖維で平滑に漉くという発想の転換が図られた。紙幣用紙には、精巧な図案を映し出す印刷適性と過酷な使用状況に耐える耐久性が求められるからだ。溜め漉き柄には黄銅製の金網が張られ、その上に「日本政府」の漉き入れ型がハンダ付け

されたという。水はけのよい紙料を細かく搔すことなく白透かしが浮き上がる。局紙作りを機に越前の紙漉きの近代化が始まり、局紙は一八七八年のパリ万博にも出品され、欧州にも輸出されるようになつた。透かしの技術はその後、証券用紙や免状用紙とその用途を広げたが、この技術そのものは元々昔からあつたという。製造技術が秘密厳守だったために余り知られていないが、江戸時代の藩札には藩名や隠し文字の透かしの入つたものがあるそうだ。



丁寧に絹糸で縫いつけられている50年前の透かし型。



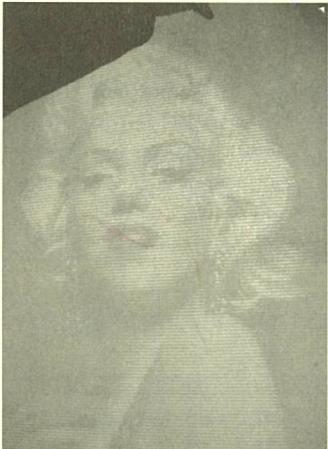
テトロン網の透かし型

### ●透かし型の今昔

山口さんの作業所は、各漉き場からの注文を一手に引き受けている。手漉き用もあれば、機械漉き用のものもある。

昔は薄く透き通る絹織物（紗）に模様に切った渋紙の型を細かく絹糸で縫い付けていました。それで紗型と言つたのです。漉く紙の種類（纖維の長さ、ねりの度合、漉き方）によつて、

網や型の素材はいろいろ変えます。基本的に纖維が短い紙料で、ネリを入れない溜め漉きが模様が明瞭に出ます。現在は、細かい模様のものなら、写真製版で型を作り、テトロンの網に樹脂系の感光剤を固めて焼き付けます。中間トーンは模様が出にくいで、白黒はつきりした模様の方が美しく漉けます。以前、問屋さんの依頼で見本用にマリリン・モンローの透かし模様を手掛けたことがあります。ですが、けつこう大変でした。コンピュータは割合早く導入し、四、五年前からは全部コンピュータで版を作るようになりました。以前使つていた暗幕付きの模様拡大機も去年やつと捨てることができました。（笑）。今はスキヤナで読み込んで版を作りますので、結構大きい襖の模様などもありあい楽に出来ます。图案もインターネットでやりとりできるので、



マリリン・モンローを漉き込んだ紙

だいぶ仕事もは  
かどるようにな  
りましたね。



丹念に楮紙の型を切り抜く工程

### ●特注品が主 証券用の局紙は ほとんど機械漉 きで、ロール状 の青銅製の金網

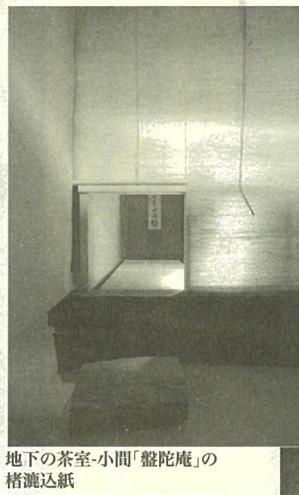
の上に透かし型を押しつけるようにして作り

ますので、丈夫なものでないといけなくて、  
主に楮紙を使います。しかし証券用紙は電子

化されてしまうので大変です。卒業証書、お  
茶やお花の免状は、もつとも売上の多い部分  
ですが、これらの注文は問屋さんを通じて  
入ってきます。全国の高校、大学の卒業証書  
の九割の透かし型はうちで作っています。東  
大も京大もありますよ。(笑)一般向きの商  
品ではなく、特注品が主で、一般的に触れ  
るものといえば、便箋や名刺でしょうか?杉  
原商店さんのヒット商品「ちぎって名刺」も  
透かし技術をうまく使ったものです。

### ●透かし技術の将来

年間、八〇〇～一〇〇型くらい作りますか  
ねえ。私達の商売は漉き屋さんがどれだけ生  
き残つていけるかに関わって来ると思うので  
す。今後漉き屋さんと協力して新しい紙を開  
発するとか、新しい商品を考えてみるなどの  
試みもしていかないといけないでしょうね。そ  
れと、この業界は宣伝・販売において大変  
I T化が遅れていますね。助成金などをうま  
く使って、もう少しこの分野を推し進める必  
要があると思います。



地下の茶室・小間「盤陀庵」の  
楮漉込紙



水に浮かぶ一階茶室「俯仰軒」

う人気ぶりである。  
現在一ヶ月待ちとい  
う人気ぶりである。

「盤陀庵」、一階の茶室・広間「俯仰軒」には、コ  
ウゾの纖維を漉き込んだ  $3.5 \times 2.6\text{ m}$  の和紙や  
 $3 \times 3\text{ m}$  の三極紙などが使用され、水面からさ  
す光の陰影を映し出している。この紙を漉いた  
五十嵐製紙は、厚みや材質の違うサンプルを  
数種類ほど依頼され、  
樂氏はそれを現場に  
しつらえて何度も検  
討したという。

地下から茶室に入る結界、地下の茶室・小間  
「盤陀庵」、一階の茶室・広間「俯仰軒」には、コ  
ウゾの纖維を漉き込んだ  $3.5 \times 2.6\text{ m}$  の和紙や  
 $3 \times 3\text{ m}$  の三極紙などが使用され、水面からさ  
す光の陰影を映し出している。この紙を漉いた  
五十嵐製紙は、厚みや材質の違うサンプルを  
数種類ほど依頼され、  
樂氏はそれを現場に  
しつらえて何度も検  
討したという。

## 情報欄

### ●イベント情報

#### ■「加藤志津子展」

時:2008年4月16日(水)～5月25日(日)  
場所:卯立の工芸館 二階展示室(越前市新在家町)

#### ■「越前和紙を使った連鶴製作」

時:2008年5月3日(土)～5日(月)  
場所:紙の文化博物館 二階(越前市新在家町)

#### ■「神と紙のまつり」

紙祖神 岡太神社・大瀧神社春季祭礼  
時:2008年5月3日(土)～5日(月)  
場所:紙祖神 岡太神社・大瀧神社(越前市大瀧町)

#### ■「神と紙の郷まつり」(和紙まつり)

大掘り出し市・ハンパ市他  
時:2008年5月3日(土)～5日(月)  
場所:パピレス館前広場他(越前市新在家町)

### 大瀧神社・岡太神社



例年「神と紙の祭り」が行われる大瀧神社・岡太神社は、県の重要文化財。NHKのBSハイビジョン放送「夢の美術館世界の名建築100選」で神社の屋根が紹介されました。日本独特の竹釘を使用した檜皮吹きで、材料となる檜の真皮部分は10年経つと再生し、何度も採取することのできるエコな素材です。

### 編集後記

1950年に創設された日本国内で最も権威のある映画賞の一つ、ブルーリボン賞の第50回ブルーリボン賞授賞式が2月12日に行われましたが、主演男優賞の加瀬亮さんははじめ受賞者が手にした賞状は越前で漉かれた手すき和紙です。(よ)